



# 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 第一商品株式会社

コード番号 8746 URL <http://www.dai-ichi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 落岩 邦俊

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務本部長

(氏名) 岡田 義孝

TEL 03-3462-8011

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,745	△1.0	△786	—	△827	—	△843	—
27年3月期第2四半期	2,773	△20.7	△399	—	△336	—	△859	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△54.64	—
27年3月期第2四半期	△55.67	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	41,147	7,405	18.0	479.72
27年3月期	44,880	8,559	19.1	554.44

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 7,405百万円 27年3月期 8,559百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	20.00	20.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,945	9.6	667	—	628	63.6	394	—	25.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	16,227,207 株	27年3月期	16,227,207 株
28年3月期2Q	789,942 株	27年3月期	789,942 株
28年3月期2Q	15,437,265 株	27年3月期2Q	15,437,265 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社は、金市場誕生と共に「金」を中心とした営業展開とお客様のニーズに合わせた情報サービスの提供を積極的に行っており、テレビCMや新聞等のメディアを通して社会的な信用や認知度を向上させ、顧客層の拡大を図ってまいりました。

2014年11月以降、アベノミクスの3本の矢で示される経済政策によって、株高・円安へと進行していく中で企業業績や個人消費の向上、雇用創出など景気浮揚に一応の効果が見られました。特に2014年の年末から2015年1月における今回のアベノミクスの“大胆な金融政策”によるデフレおよび円高不況からの脱却は、ロンドンやニューヨークなど海外金価格の変動に左右されず、今までボックス圏内で動いていた国内金価格を押し上げる要因となりました。2015年4月以降も、円安がさらに進行することで、国内金価格が過去最高値を目指して上昇するものと想定され、その結果、当社で金取引を希望されている潜在顧客が一気に顕在化し、並行して支店数・外務員数等も拡大し業績も大幅に向上するものと期待しておりました。

しかしながら、先般の中国での株式バブル崩壊、ギリシャでの債務危機に火が噴き、金融市場はこの二大危機に大きく揺さぶられました。その対応として矢継ぎ早の株価対策で上海株暴落には一定の歯止めがかかり、欧州もギリシャへの支援再開を決定したことで、危機は収束したかのように見えてきましたが、その後、世界経済のけん引役だった中国経済が想像以上に悪化し、しかも米国の早期利上げ観測からくる新興国の金融市場のショック等から、世界中の市場に連鎖的に動揺が広まり、底値が見えない状況で推移しました。

当社においてもその余波を受け、想定外の世界同時株安とアベノミクスの金融政策の頭打ちによる影響から、当社主力の金価格の値動きも下落基調で相場の盛り上がりには欠け、さらに8月下旬に発生した急激な為替相場の変動によって、顧客全般の投資意欲を低下させ、売買高が予想より大幅に伸び悩み、当第2四半期累計期間における商品先物取引売買高は291千枚(前年同期比9.7%減)となりました。また、FX取引にかかるカバー先との取引において為替差損が生じたことで約340百万円の損失を計上し、営業利益に大きく影響を与えることとなりました。

この結果、平成28年3月期第2四半期累計期間の営業収益は2,745百万円(前年同期比1.0%減)、営業損失は786百万円(前年同期は399百万円の損失)、経常損失は827百万円(前年同期は336百万円の損失)、四半期純損失は843百万円(前年同期は859百万円の損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ3,733百万円減少し、41,147百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少(5,641百万円)や、差入保証金の減少(5,342百万円)、委託者差金の増加(6,573百万円)等によるものです。

負債は、前事業年度末に比べ2,579百万円減少し、33,742百万円となりました。これは主に預り証拠金の減少(2,239百万円)等によるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ1,153百万円減少し、7,405百万円となりました。これは主に四半期純損失を843百万円計上し、配当金を308百万円支払ったこと等によるものです。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社平成28年3月期(通期)における当社業績予想については、去る平成27年11月6日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示いたしております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,771,897	10,130,546
受取手形及び売掛金	30,623	231,005
委託者未収金	101,058	96,808
商品	642,698	633,036
貯蔵品	2,936	2,558
保管有価証券	6,853,896	6,657,837
差入保証金	10,844,473	5,502,093
委託者差金	4,471,868	11,045,195
外国為替取引預け金	1,960,571	2,312,235
その他	819,830	1,290,936
流動資産合計	41,499,854	37,902,255
固定資産		
有形固定資産	741,542	746,439
無形固定資産	109,189	97,207
投資その他の資産		
投資有価証券	39,918	36,987
固定化営業債権	1,116,508	1,120,689
破産更生債権等	1,372,857	1,252,857
その他	1,206,655	1,204,206
貸倒引当金	△1,205,570	△1,213,024
投資その他の資産合計	2,530,368	2,401,716
固定資産合計	3,381,100	3,245,363
資産合計	44,880,954	41,147,619

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	39,469	137,774
未払法人税等	64,896	23,878
賞与引当金	71,435	73,749
役員賞与引当金	30,000	15,500
訴訟損失引当金	111,938	120,948
預り証拠金	28,416,287	26,177,037
預り証拠金代用有価証券	6,853,896	6,657,837
その他	351,060	159,938
流動負債合計	35,938,984	33,366,664
固定負債		
退職給付引当金	330,555	316,988
その他	29,484	36,526
固定負債合計	360,040	353,514
特別法上の準備金		
商品取引責任準備金	22,860	21,906
特別法上の準備金合計	22,860	21,906
負債合計	36,321,884	33,742,084
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,693,150	2,693,150
資本剰余金	2,672,071	2,672,071
利益剰余金	3,431,515	2,279,353
自己株式	△245,957	△245,957
株主資本合計	8,550,780	7,398,618
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,289	6,915
評価・換算差額等合計	8,289	6,915
純資産合計	8,559,069	7,405,534
負債純資産合計	44,880,954	41,147,619

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業収益		
受取手数料	2,589,875	2,591,903
売買損益	30,180	6,846
その他	153,575	146,655
営業収益合計	2,773,631	2,745,405
営業費用	3,173,287	3,531,877
営業損失(△)	△399,655	△786,472
営業外収益		
受取利息	1,396	1,481
受取配当金	289	265
為替差益	6,306	—
貸倒引当金戻入額	51,439	4,588
倉荷証券保管料	—	8,285
その他	3,859	3,247
営業外収益合計	63,292	17,868
営業外費用		
支払利息	474	383
貸倒引当金繰入額	—	12,043
為替差損	—	46,197
敷金償却費	—	162
その他	2	199
営業外費用合計	477	58,985
経常損失(△)	△336,840	△827,589
特別利益		
固定資産売却益	307	69
商品取引責任準備金戻入額	77,675	64,088
特別利益合計	77,982	64,158
特別損失		
固定資産除売却損	1,218	56
商品取引責任準備金繰入額	70,457	63,134
投資有価証券評価損	—	900
減損損失	9	—
特別損失合計	71,685	64,092
税引前四半期純損失(△)	△330,543	△827,523
法人税、住民税及び事業税	10,861	10,880
法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額	5,392	5,013
法人税等調整額	512,624	—
法人税等合計	528,878	15,893
四半期純損失(△)	△859,421	△843,416

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。